



顕著な大雨に関する情報

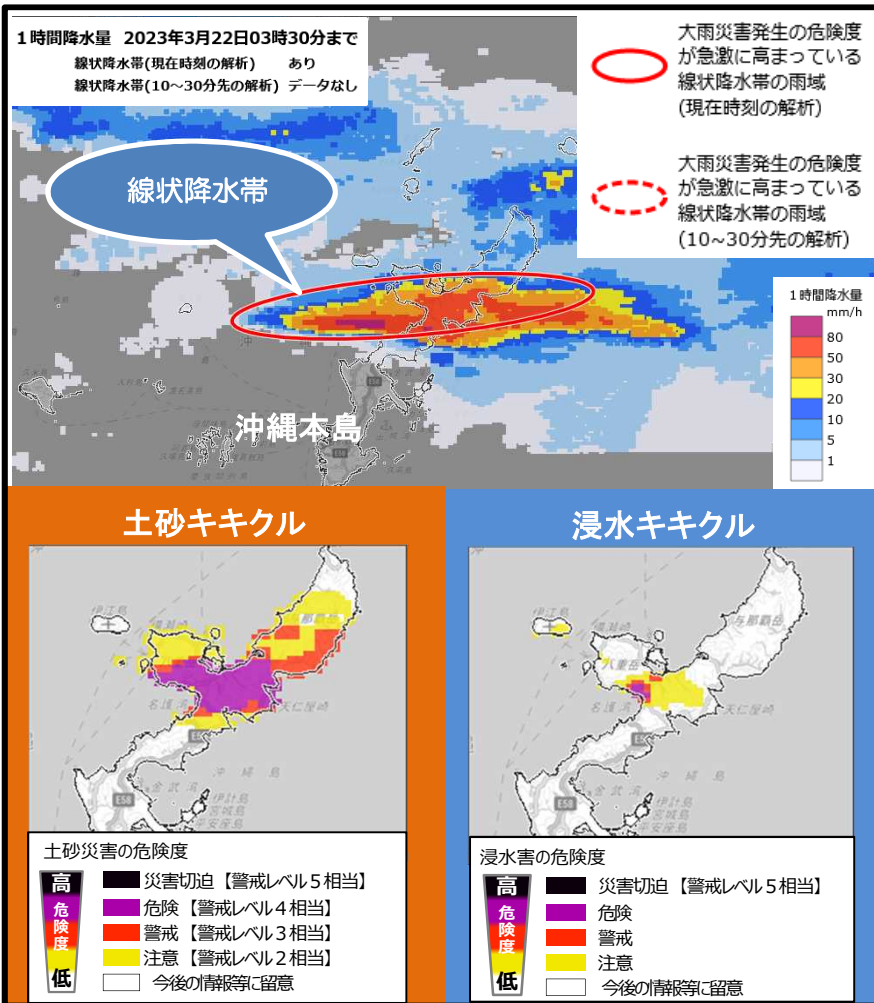
～キーワードは線状降水帯～

「顕著な大雨に関する気象情報」は「線状降水帯」というキーワードを用いて、非常に激しい雨が同じ場所で降り続き、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっていることを解説する情報です。この情報は、警戒レベル相当情報を補足する情報で、警戒レベル4相当以上の状況で発表します。

令和5年5月25日から、「顕著な大雨に関する気象情報」は予測技術を活用しこれまでより最大30分程度前倒しして発表します。

◆線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなし、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとまなう雨域のこと。



2023年3月22日未明 沖縄本島で線状降水帯が発生、命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まった。沖縄気象台は22日03時29分に「顕著な大雨に関する沖縄本島地方気象情報」第1号を発表した。

キキクル
(危険度分布)



顕著な大雨に関する情報が発表された際は、自治体による避難情報や、キキクル（危険度分布）等を確認し、崖の近くなど危険な場所にいる場合は安全な場所へ移動するなどの対応をお願いします。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30～17:15)